

活動プロ A-4 (キャンプ活動) キャンピング

事前
指導

野営は、日常的な文明生活から離れ、自然への回帰から始まります。野鳥のさえずりに朝を知り、虫の鳴き声に夕べを知る。その中に自らを律し、創意工夫によって生活を築いていくなど野営の目的はまさにここにあるといつてよいでしょう。



1. 活動場所、所要時間

自然の家野営場 (利用期間：4月下旬～10月)

- ・ ロッジ泊 (9棟にそれぞれ14名宿泊可)
- ・ テント泊 設営・・・1時間程度 撤収・・・1時間程度

2. 準備

自然の家 (西準備室)	テント泊：テント用具一式、銀マット、シュラフ、ランタンなど
個人・団体	軍手、懐中電灯、虫除けスプレー、蚊取り線香 (電池式のものに限る)

3. 施設概要

(1) 施設

- 野外活動センター1棟 ○ 炊飯場2棟 (東・西) ○ トイレ2棟 (東・西)
 - ロッジ (14人収容) 9棟 ○ 説明テント ○ テーブル18セット
- ※野営場にはロッジ、炊飯用具、寝具等が常設してあります。テント泊も可能です。

(2) テント用具 (西準備室)

- テント (5～6人用10張程度)
 - シュラフ (寝袋) + シーツ ○ 銀マット
- ※テント・ロッジ内での蚊取り線香の使用はできません。(ただし、電池式のもの可)



4. 実施方法

- (1) 西準備室前に集まり、用具一式を運ぶ。
- (2) テント設営・撤収の手順
 - ① テント設置のせみどりの広場・野営場内に自分たちのテントを立てる場所を決める。
 - ② テント設置の仕方 (説明書を見ながら各団体で設置)
 - ③ テント撤収の仕方 (使用した道具を確認しながら不足がないようにきれいに収納す)
(活動前にテントを必ず撤収し所員のチェック(9時頃)を受ける)

5. 留意点

- (1) テント設営は4人1組程度で協力すると早くできる。
- (2) 道具、用具を取り扱うときは、軍手を着用し声を掛け合いながらけがのないようにする。
- (3) 活動途中で、ハチの巣やハチが飛び回るところを見かけた場合、腰をかがめ動かず、いなくなるのを確認してからゆっくりとその場を離れる。(場合によっては活動を中止することも大切です。)